

# 中国語(看護学部)

選 択

開講年次：2年次後期

科目区分：演 習

単 位：1 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：入門中国語としての文字・発音・文法を学習しながら医療現場に役立つ基本的な用語・会話も学習する。また異文化コミュニケーションという観点から、中国に対する理解を深める。

■**到達目標**：①中国語で自己紹介ができる。  
②中国語で初歩的なコミュニケーションができる。  
③医療現場での初歩的なコミュニケーションができる。

■**担当教員**：照井 はるみ

## ■授業計画・内容：

- 第 1 回 ガイダンス：「中国語学習を始める前に」、「自分の名前は中国語で」、「挨拶用語」、「中国医療事情」  
スライド・DVD鑑賞：「中日友好医院」（北京）、「馬偕記念医院」（台北）、ルポ「中国的伝統と現代生活」
- 第 2 回 「発音Ⅰ」・第 1 課 自己紹介
- 第 3 回 「発音Ⅱ」・第 2 課 これは何ですか
- 第 4 回 「発音Ⅲ」・第 3 課 これはいかがですか
- 第 5 回 第 4 課 買い物
- 第 6 回 第 5 課 どこにありますか
- 第 7 回 第 6 課 何がありますか
- 第 8 回 第 7 課 ホテルにチェックイン
- 第 9 回 第 8 課 何時に行きますか
- 第10回 映像で知る中国：ルポ「中国少数民族大運動会」、ルポ「伝承」、ルポ「中国の服飾」、京劇舞台版「西遊記一三打白骨精」／「中国茶を味わう」
- 第11回 第 9 課 タクシーに乗る
- 第12回 第10課 試着と支払い
- 第13回 第11課 苦情を訴える
- 第14回 第12課 紛失届けを出す／自己紹介練習
- 第15回 自己紹介発表会：全員が発表者で審査員  
スライド鑑賞：「春節風景in台北・西安」、「胡同」、「パリの中華街&東洋美術館」他

■**教科書**：『最新版 1年生のコミュニケーション中国語』（CD付）白水社 2,200円＋税  
補助プリント：歴史・文化・社会・生活・医療用語・会話などのプリントを配付する。

■**参考文献**：『近くて遠い中国語』阿辻哲治著（中公新書）、『東京の台所・北京の台所－中国の母から学んだ知恵と暮らし』ウー・ウエン著（岩崎書店）、『知日』毛丹青ほか著（潮出版社）、『美麗島紀行』乃南アサ著（集英社）、『すぐ使えるナースのための中国語会話1000』石渡延男監修（桐書房）、他にガイダンスで配布する「参考図書目録」（大学図書館所蔵）を参照。

■**成績評価基準と方法**：定期試験（学期末）70%、授業態度・出席30%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験	◎	◎	○	定期試験100点満点で80点以上取得のこと。	70
授業態度・発表	◎	◎	○	毎回授業に出席しその内容を習得することが基本。1回欠席で－5点。	30
出席				2／3以上の出席。	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

## ■関連科目：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：2016年の「言論NPO」の調査によると日本人の嫌中率は91.6%、中国人の嫌日率は76.7%、歴史認識・政治外交の面で相互不信の連鎖が続いている。一方中国からの旅行者数は499万人（台湾からは368万人）、中国人留学生数は9万4000人で来日留学生のほぼ半数を占める。自らの目で「日本」を体感した中国の若者は日本の文化や社会に対する認識を改め、人的交流を深め、経済と文化の両面で日中の関係を支える。札幌の街でも日常的に中国人に出会い中国語を耳にする昨今、本講座での中国語学習ならびに中国の近現代史・文化・社会・生活についての学習が、あるべき隣人関係を考えるための第一歩となることを願っている。また医療用語や会話、伝統的民間療法「養生」についても紹介する。